



ウチヤマホールディングス
UCHIYAMA HOLDINGS

コード番号：6059、東証第一部

株式会社ウチヤマホールディングス

福岡県北九州市小倉北区熊本二丁目 10-10

平成 29 年 7 月 6 日

報道関係各位

全国で 84 か所の有料老人ホームを運営するウチヤマホールディングスは、認知症高齢者の徘徊防止システムのレンタルを始めました。システムの利用には介護保険が適用され、月々の利用料は 1 割負担で 850 円。メール機能と検索機能がついた徘徊防止システムの介護保険レンタルは業界初の試みです。

■ 「システム」概要

- ・認知症の高齢者に発信機を持ってもらいます（防水加工された発信機は縦 6 cm、横 5 cm。カバンに入れても、杖に付けても OK）発信機の愛称は「みまもりビーコン」で、お守り袋に入っています。
- ・玄関や施設の入り口などに固定検知器を設置（検知器はスマートフォンの同じ大きさ）
- ・高齢者が玄関や入り口を通って、戸外に出ると、検知器が作動。オプション機能であらかじめ設定された高齢者の家族の携帯電話にメールで連絡。
- ・検知器から半径 450 メートルなら、高齢者の「現在地」も分かる機能付き。
- ・厚生労働省が定める「福祉用具貸与及び介護福祉用貸与に係る福祉用具」（平成 11 年厚生省告示第 93 号）のうち「認知症老人徘徊感知機器」と認められた初めての商品です。介護保険が適用されるため、レンタル費用として、利用者の負担は「1 割負担」で、1 か月 850 円。
- ・発信機には、1 億円までの傷害保（上限 1 億円まで）付き。発信機を所持した高齢者は、電車やバスを止めた際の損害賠償にも対応。

※認知症患者の全国で 462 万人（平成 25 年厚生労働省）。もの忘れ、暴言などさまざまな症状がありますが、大きな社会問題となっているのが徘徊です。警察庁によると、認知症高齢者の行方不明者も増え続けており、平成 27 年で、12,208 人。「みまもりビーコン」は、問題解決のお手伝いができる機器です。

参考 「みまもりビーコン」は、「OFF Line 株式会社」が開発しました。

総代理店グローバルアミュレットと提携を結び九州を中心に普及を目指します。

＜本件に関するお問い合わせ＞

広報担当者名 肥後邦彦

TEL : 093-551-0002 FAX : 093-531-7577

以上

■介護事業における新たな取り組み

御守り型認知症患者追跡端末
「みまもりビーコン」



●導入のメリット

- ①認知症の入居者様の徘徊および行方不明を防止
- ②介護職員のみまもり業務の軽減効果
- ③介護保険が適用されるため、利用者は安価で利用可能

●成果

- ・石川県白山市における実証実験および施設導入
- ・仙台市の施設への導入
- ・当社グループ施設での実証実験
- ・柏市でのドローンでの捜索を含む実証実験
- ・いずれもビーコンを用いて徘徊の防止、外出、帰宅の確認、屋外でのビーコン検知ができるなどを確認

●今後の展開

- ①各施設への導入に向け、検証を継続・蓄積
- ②「みまもりビーコン」の販売代理店として利用者を拡大し、安心・安全な社会の実現を目指す

【開発元】オフライン株式会社

